

市報 たかはし

高萩市市民憲章 昭和49年11月1日制定

1. 自然をたいせつにし、美しいまちをつくりましょう
1. きまりを守り、明るいまちをつくりましょう
1. 礼儀を正しくし、うまいものあるまちをつくりましょう
1. 元気で働き、豊かなまちをつくりましょう
1. 思いやりのある、あたたかいまちをつくりましょう

昭和59年11月15日 発行 市制施行30周年記念特集号 No.297 編集・発行/ 高萩市役所市長公室 ☎ 0293 (23) 2111



恵まれた自然に調和し

21世紀へ向けて

飛躍するまち——高萩

市制施行

30周年を迎えて

清潔で豊かな

産業文化都市の創造

高萩市長

大高 省三



豊かな海の青さと山脈の緑に恵まれた高萩市が市制施行三十周年を迎え、ここに市民の皆様と共に喜びをわかちあえることは、私にとってこのうえない幸せでございます。

二十一世紀へ向けて

市民と共に

高萩市議会議長

吉田 秀吉



市制施行三十周年おめでとうでございます。

当市も市制施行以来今日まで、社会経済情勢の幾多の変遷に当

かえりみずと、昭和二十九年十一月二十三日、市制を施行して以来、戦後のめまぐるしい社会・経済の変化のなかで、幾多の困難な問題を乗り越えて今日の活力ある都市づくりができましたのは、本市発展のためにご努力された多くのかたがたの高萩市に寄せた思いの深さの結晶であり、それらのご労苦に対し心からの敬意と感謝を申し上げます。

最近の社会は、社会構造や生活意識の変化につれて、市民一人ひとりのライフ・スタイルがそれぞれ多岐にわたり、多様化する市民の行政ニーズを要約していくことは大変な作業ですが、市民生活に機能できる行政力をたかめながら、地方の時代にふさわしい、うるお

しながらも、調和と活力ある都市づくりを目指して、市民各位並びに関係者のご尽力により、近代都市として今日の隆盛をみる事が出来ましたことは、誠に同慶に耐えないところであります。

当地方は、遠くは水戸藩の知行地、城下町として栄え、明治以後は諸官庁の所在地として、文字どおり県北地方における政治経済の中心都市としての重要な役割を担いつつ、現在の都市基盤が確立されたのであります。

ここに三十周年の意義ある年を迎えるにあたり、先人の残されたご功績に深く敬意を表しますと共に、私どもは常にこの尊い史実を

いのある定住社会の形成に努めると共にその責任の大きさを痛感しております。

幸い、常磐自動車道建設も始まり、昭和六十二年度には高萩インターチェンジが供用開始されます。これを地域開発のフアクターとして二十一世紀への展望を踏まえながら、基本的には、市民の健康、文化、やすらぎを基調とした都市基盤の整備を積極的に促進し、海と緑を生かした清潔で豊かな産業文化都市の創造に、市民の参加を得ながら努力していく覚悟でございます。どうか市議会議員各位をはじめ、市民の皆様がたのご理解とご協力を心からお願い申し上げます。市制施行三十周年にあたってのお祝いのことばといたします。

ふまえて、市政の発展に鋭意努力する所存であります。

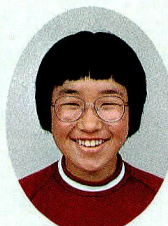
幸い常磐高速自動車道も昭和六十二年度に開通の見通しとなっております。本市もこれを契機として更に充実した産業の振興、観光開発、生活環境の整備等、市民の福祉増進のための新たな諸施策が、企画、実施に移されようとしております。

私も同様に、市民各位と共に邁進することばといたします。

昭和二十九年十一月二十三日に高萩市が誕生して、三十周年を迎えました。この間、私たちが生まれ育った郷土も大きく変わり、発展してきました。市制施行三十周年を迎えた市民の皆さんに、それぞれの身近な立場からの声を聞いてみました。

未来の高萩市

東小学校六年



矢部 子子 暢さん

未来の高萩市街は、デパートやビルが建ち並び人でにぎわっていると思います。市の西北部にある山々は、住宅地や運動施設などになっていると思います。工業団地には大工場がいくつも建ち、工業がさかんな街になると思います。科学技術なども大きく進歩し、宇宙との交信も多くなり今のKDDなどは、もつと大きな施設になっていると思います。自然を生かした観光都市と工業都市、そして宇宙への基地としての役割を兼ねた街としての街からも注目されると思います。高萩市に生まれて本当によかったなあと思う人がたくさんいると思います。



下山田 洋子さん

市内にただ一つだった私たちの木造校舎も、来年には新校舎へとバトンタッチされます。

本格的な校舎建築は、八月の体育館移動から開始されました。現在早くも三つの教室が取り壊され一部の授業はプレハブの仮教室で行っています。

私たちと木造校舎との付き合いは二年半ぐらいになります。とてもすばらしい校舎です。このような校舎がなくなってしまうなんて、でも、一度立派な校舎で勉強が出来たらなと複雑な気持ちです。

このごろ思うこと

高萩高校二年



高橋 勝さん

私が高萩市に引っ越して来たの

心に残る木造校舎

松岡中学校三年

心に残る木造校舎

は幼稚園に入る年のことでした。よく近所の畑なんかをあらし回ってはいけなかったものでした。

あれから十年以上の年月が流れたなどとはとても信じがたい気がします。考えてみると、俗に言われる青春時代というものを私はこの高萩で過ごしていたことになり、何か感動がわいてきます。

高萩市はとても素敵なおとこです。私はこの高萩がどんどん発展することを望むと同時に、このままずっと変わらないでいてほしいとも思うこのごろです。

若者の社会参加

国家公務員



高安 祐一さん
22歳

市制三十周年おめでとうござい
ます。私は、勤務のため水戸市よ
り転入して約二年になります。当
時は、三万弱の街という事以外市
について知らなかったが、自然環
境に恵まれた中に素晴らしい各種
施設が設置されている事を知りま
した。その施設の一つ、勤労青少
年ホームで活動していますが、他
市と比較し、若者の絶対数が少な
い中での充実した活動は、市の発
展と共に歩んでいるように見え
ます。三十年間の歩みの中で生

まれたもののますますの充実と、
今後の発展を期待し、それらに対
する私たち若者の積極的社会参加
を約束いたします。

美しい街

会 社 員



佐藤 裕子さん
21歳

私が二十余年暮らしてきた、こ
の高萩市も、今年で市制施行三十
周年を迎えるそうで……おめでと
うございます。

高萩市は環境に恵まれた、とて
も住みよい街だと思います。ただ、
最近、街のあちこちで、拾われ
るあてもなく、淋しそに風にか
舞っているゴミをよく見かけてし
まいます。せっかくの環境を汚さ
ないように、市民の一人ひとりが
心掛けて、「美しい街」で、五十
周年、百周年を迎えることができ
たら、素晴らしいことだと思っ
たのです。

私たち二人も 三十歳！

意見を反映させる 場を

会 社 員



三上 明仁さん
30歳

市の発展を望まない人はいない
と思います。しかし大部分の人は
市政に無関心であつたり、意見が
あつてもそれをどのように市に反
映させるかを知らない人が多いの
ではないでしょうか？かく言う私
もその一人です。確かに市の行政
は我々が何もしなくても動いてく
れます。しかし市がバランス良く
発展していくためには市民がそれ
ぞれの立場から意見を出し反映さ
せなければならぬと思います。

そしてそのための場と機会を作っ
ていかなければならぬと思いま
す。

市政は市民の反映

主 婦



古張 典子さん
30歳

高萩の市政は、私たち市民の反
映でもあるのですから、まず私た
ちが積極的に参加してこそ、高萩
市の発展にもつながるのではない
でしょうか。

主婦の立場から望むことは、主
婦を対象とした楽しく、ユニーク

な行事の新設（リサイクル運動や
バザー）や、家族で参加しやすい
行事の増設などです。

自分たちの身近な行事に、接す
ることで、私たち主婦でも少しづ
つ、市政に目を向けることができ
るのではないのでしょうか。

商業施策に期待

商 業



沼野 辰三さん
44歳

私たち商人にとりましては、こ
の三十年間の高萩の商業環境は、
決して明るくはなかったように思
えます。石炭産業の衰退、石油シ
ョックに追い打ちをかけるように
起きた大型店の進出、そして今、
近隣都市での商業開発計画の進行
等々……。

とは言え、高萩で商業を営む者
として、市民の皆様の信頼を得る
ための自助努力の必要性は言うま
でもありませんが、行政の持つ三
十年間のノウハウで、市民として
の商人にも明るさが見えるような
明日の高萩の商業に対する施策に
大いに期待するものであります。

基盤整備で農業 の確立を

農 業



大高 進さん
53歳

三十年といえど人生における一
世代を経過したことになるが、当
時の農家は生活も安定しており意
欲もあり嫁も来てくれました。だ
んだん工業化の進む中で生活様式
の変化とともに兼業化の道を余儀
なくされ、それに対応して機械化
されたが、狭い耕地では機能を十
分発揮出来ず基盤整備の必要性が
迫られ、当市でもようやく六年前
から始められたのは喜ばしいこと
です。これからは河川改修と並行
して流域の基盤整備を進められ住
みよい生活環境を作り都市化へ進
む中で農業を確立できるように、
そして子の世代に引き継げる嫁の
来る社会を切実に願っています。

高齢者大学を修了

無 職



細金 かつさん
69歳

私は終戦後外地より引揚げ昭和
二十二年に高萩に移住した者で、
以来三十八年間市民の皆さんのた
ゆまざる努力によって、かくも発
展した事にたいし感謝するもので
す。

高萩市が誕生して今年が三十年周
年を迎える年になりました。誠に
おめでとうございます。厳しい
移り変わりと共に学校は次々に新
築され、公民館、体育館、文化会

生涯教育の充実を

無 職



若松 武夫さん
70歳

市制三十周年を迎えるにあたり
高萩市の素晴らしい発展を心から
お祝い申し上げます。今後また
ますの発展をお祈り致します。

昭和五十年定年となり公民館主
催の高齢者大学に入り、以来皆さ
んのお世話を頂きクラブ活動にあ
たっております。高齢者の福祉活動
については困難な財政の中、一層
のご努力をお願いしてやみません。

市制30年のあゆみ

歴代市議会議員・副議長

代	議長氏名	副議長氏名	就任	退任
初代	舟生 一郎	佐川 義光	昭29.11.23	30.11.22
2	吉田 秀吉	小松 正治	昭30.12. 5	32.12. 4
3	檉村 之男	矢代 光史	昭32.12. 4	33. 9.27
4	吉田 秀吉	鈴木 藤雄	昭33. 9.27	34.11.22
5	鈴木 藤雄	豊田 武門	昭34.11.28	35.12. 5
6	小松 正治	矢代 良三	昭35.12. 5	36.12. 5
7	矢代 光史	鈴木 好之	昭36.12. 5	37.12. 1
8	鈴木 藤雄	川松 光彦	昭37.12. 1	38.11.22
9	吉田 秀吉	鈴木 道雄	昭38.12. 2	40.12. 6
10	川松 光彦	大和田知之	昭40.12. 6	41.12.21
11	豊田 武門	大久保 清	昭41.12.21	42.11.22
12	吉田 秀吉	阿部 正寿	昭42.11.28	46.11.22
13	大和田知之	棚谷 立夫	昭46.11.29	48.12.17
14	阿部 正寿	石 安太郎	昭48.12.17	49.12.17
15	棚谷 立夫	大部 薫	昭49.12.17	50.11.22
16	大部 薫	小山 政男	昭50.11.29	51.12.15
17	鈴木 好之	北畠 暢男	昭51.12.15	52.12.13
18	吉田 秀吉	佐川 安応	昭52.12.13	54.11.22
19	佐川 安応	鈴木 一二	昭54.11.30	55.12.22
20	鈴木 一二	近藤 孝一	昭55.12.22	58.11.22
21	吉田 秀吉	渡辺賢太郎	昭58.11.30	在任中

歴代市長

代	氏 名	就任	退任
初代	小峰 威夫	昭29.11.23	33.12.24
2	安村 篤	昭33.12.25	45.12.24
3	鈴木 藤太	昭45.12.25	57.12.24
4	大高 省三	昭57.12.25	在任中

歴代助役

代	氏 名	就任	退任
初代	綿引 倉蔵	昭30. 1.18	33.12.24
2	岩本 啓治	昭34. 2.18	46. 1.18
3	下山田一郎	昭46. 3.12	58. 1.11
4	安村 実	昭58. 5. 7	在任中

歴代収入役

代	氏 名	就任	退任
初代	吉久保喜夫	昭29.11.23	31. 1.31
2	村田 正己	昭31. 5.11	51. 5.10
3	岩本 義文	昭51. 5.11	58. 8.31
4	佐川誠太郎	昭58. 9. 8	在任中



現市議会議員

鈴木 茂	明智 健一	本多 祐治	舟生 佳紀	細金 秀隆	鈴木 本成	郷土 行男	大高 一雄	鈴木 徳男	矢代 洋三	大部 勝央	中井 盛雄
赤城 博	平 正三	寺岡 七郎	近藤 孝一	佐川 安応	吉田 秀吉	渡辺 賢太郎	鈴木 一二	根本 栄	篠原 新一郎	鈴木 好之	飯田 邦昭

(敬称略)



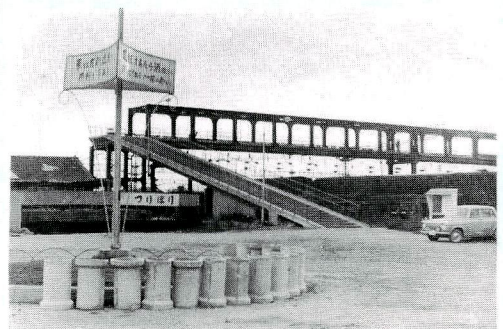
高萩市庁舎（昭和33年）



市制施行祝賀ちようちん行列（昭和29年）



黒牛導入（昭和35年）



中央跨線人道橋（昭和39年）

年表

〔昭和二十九年〕

- 十月 高萩町、松岡町、高岡村と黒前村、櫛形村の一部が合併し市制を施行
- 三月 市長選挙執行、初代市長に小峰威夫氏が就任

〔昭和三十年〕

- 五月 市制祝賀式典を挙行
- 五月 市議会議員一般選挙執行

〔昭和三十一年〕

- 八月 「市報たかはぎ」（旧題・高萩市生活改善）第一号発行
- 九月 高萩市社会福祉協議会が発足
- 十月 都市計画により、町界、町名が改正

〔昭和三十二年〕

- 三月 松岡支所、高岡支所を廃止
- 三月 横川中学校を廃止
- 三月 伝染病隔離病舎を建設（高萩市および十王町防疫組合）
- 四月 第一幼稚園を開設
- 五月 中央児童公園が完成
- 七月 望海地区（北茨城市）高萩市に編入
- 九月 新市建設計画でモデル市に指定される。

〔昭和三十三年〕

- 四月 東小学校を新設（若栗・大能、中戸川小学校を廃止、東小学校の教場とする。）
- 五月 高萩市老人クラブ結成される。
- 九月 新市庁舎が完成
- 三月 市長選挙執行、市長に安村篤氏が就任

〔昭和三十四年〕

- 四月 東小学校の大能、中戸川教場を廃止し、東小学校へ統合（ス

クールバス運行）
高萩市の国民健康保険事業発足
高萩保育所設立

〔昭和三十五年〕

- 一月 駅東土地区画整備により町界、町名改正
- 三月 東小学校全校舎が完成
- 四月 秋山中学校を新設（花貫・若栗中学校を廃止、秋山中学校の教場とする。）
- 五月 黒牛二百五十頭を導入
- 九月 高萩市商工会が発足
- 九月 高萩陸橋が完成

〔昭和三十六年〕

- 十月 産炭地域の指定を受ける。

〔昭和三十七年〕

- 三月 第一幼稚園舎が完成
- 四月 秋山中学校全校舎完成（花貫教場廃止）
- 六月 君田診療所開設
- 十月 高萩―勝田間で電車運転開始

〔昭和三十八年〕

- 三月 交通安全都市宣言
- 四月 県立高萩工業高等学校開校
- 五月 高萩市住宅公社設立
- 六月 高萩―平間で電車運転開始

〔昭和三十九年〕

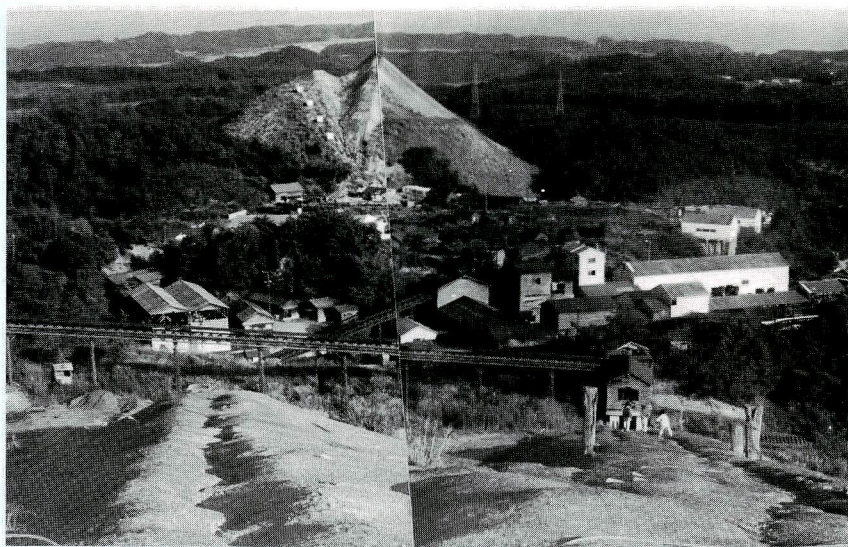
- 三月 高萩海岸高潮対策護岸工事完成
- 四月 中央跨線人道橋完成
- 六月 松岡小学校全校舎完成
- 七月 高萩電報電話局舎完成、自動電話開通
- 九月 磯道跨線人道橋完成
- 十月 土岳・花貫溪谷が県立自然公園に指定される。
- 七月 市制施行十周年記念式典を挙

〔昭和四十年〕

- 一月 駅前に「希望の鐘」設置



高萩市史（昭和44年）



高萩炭礦閉山（昭和42年）

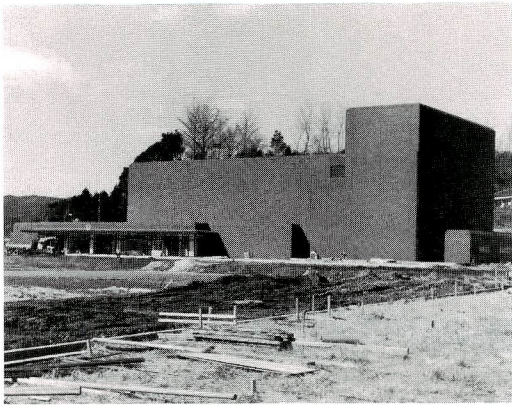


第29回国民体育大会秋季大会（昭和49年）



松久保古墳（昭和45年）

- | | | |
|---|---|--|
| <p>三月 高萩市及十王町防疫組合が衛生組合に。</p> <p>四月 高萩市消防署が常備化される。若果教場を廃止し、松岡小、松岡中学校に統合</p> <p>【昭和四十一年】</p> <p>二月 高萩・松岡両農協が合併し、高萩市農業協同組合として発足</p> <p>四月 高萩・北茨城と畜場組合を設立</p> <p>九月 花貫衛生センター完成</p> <p>【昭和四十一年】</p> <p>二月 高萩炭礦(株)高萩炭礦閉山を宣言</p> <p>十月 市議会議員一般選挙執行(議員定員三十名を二十四名に減少)</p> <p>【昭和四十三年】</p> <p>三月 向洋炭鉱閉山を宣言</p> <p>四月 秋山保育所設置</p> <p>六月 高萩・北茨城食肉センター完成(と畜場組合)</p> <p>八月 高萩霊園完成</p> <p>第一回ママさんバレーボール大会開催</p> <p>十月 高岡地区に農村集団自動電話開通</p> <p>第一回肥育肉牛共進会が開催される。</p> <p>【昭和四十四年】</p> <p>四月 交通指導員配置</p> <p>九月 救急業務開始</p> <p>十二月 高萩市史(上下二巻)発刊</p> <p>【昭和四十五年】</p> <p>七月 松久保古墳発掘</p> <p>十月 第一回市民あるく会を開催</p> <p>十二月 第一回市民号運行(福島県浪江町)</p> <p>市長選挙執行、市長に鈴木藤太氏が就任</p> | <p>三月 高萩市及十王町防疫組合が衛生組合に。</p> <p>四月 高萩市消防署が常備化される。若果教場を廃止し、松岡小、松岡中学校に統合</p> <p>【昭和四十一年】</p> <p>二月 高萩・松岡両農協が合併し、高萩市農業協同組合として発足</p> <p>四月 高萩・北茨城と畜場組合を設立</p> <p>九月 花貫衛生センター完成</p> <p>【昭和四十一年】</p> <p>二月 高萩炭礦(株)高萩炭礦閉山を宣言</p> <p>十月 市議会議員一般選挙執行(議員定員三十名を二十四名に減少)</p> <p>【昭和四十三年】</p> <p>三月 向洋炭鉱閉山を宣言</p> <p>四月 秋山保育所設置</p> <p>六月 高萩・北茨城食肉センター完成(と畜場組合)</p> <p>八月 高萩霊園完成</p> <p>第一回ママさんバレーボール大会開催</p> <p>十月 高岡地区に農村集団自動電話開通</p> <p>第一回肥育肉牛共進会が開催される。</p> <p>【昭和四十四年】</p> <p>四月 交通指導員配置</p> <p>九月 救急業務開始</p> <p>十二月 高萩市史(上下二巻)発刊</p> <p>【昭和四十五年】</p> <p>七月 松久保古墳発掘</p> <p>十月 第一回市民あるく会を開催</p> <p>十二月 第一回市民号運行(福島県浪江町)</p> <p>市長選挙執行、市長に鈴木藤太氏が就任</p> | <p>【昭和四十六年】</p> <p>四月 東幼稚園開設</p> <p>第一回高萩まつり(高萩市民まつり)開かれる。</p> <p>八月 松久保工業団地進出企業と環境保全等に関する協定書調印</p> <p>九月 高萩市中央公民館が完成</p> <p>十二月 第一回市民表彰式を挙行</p> <p>三月 東幼稚園舎が完成</p> <p>【昭和四十七年】</p> <p>四月 花貫衛生センター北部処理場完成</p> <p>明るく住みよいまちづくり市民運動推進協議会設立</p> <p>五月 望海炭礦閉山</p> <p>七月 松久保工業団地造成工事完成</p> <p>市営野球場完成</p> <p>九月 高松宮賜杯全日本軟式野球大会開催</p> <p>市総合振興計画策定</p> <p>市公害防止条例制定</p> <p>十月 第一回「みんなの消費生活展」開催</p> <p>三月 第十四回関東肉牛共進会開催</p> <p>高萩第一浄水場完成</p> <p>【昭和四十八年】</p> <p>三月 花貫ダム完成</p> <p>四月 秋山幼稚園開設</p> <p>上水道給水開始</p> <p>六月 老人いこいの家「ことぶき荘」完成</p> <p>九月 第一回市長杯軟式野球大会開催</p> <p>十月 下君田の「ささら」市無形文化財に指定</p> <p>三月 都市計画用途地域決まる。</p> <p>【昭和四十九年】</p> <p>二月 海浜公園完成</p> <p>三月 市の木「まつ」、市の花「はぎ」、市の鳥「きじ」を制定</p> <p>下君田大塚神社の杉と樅が県</p> |
|---|---|--|



高萩市文化会館（昭和55年）



第27回全国植樹祭（昭和51年）



高萩市・十王町事務組合消防本部（昭和59年）



高萩市図書館・歴史民俗資料館（昭和58年）

- | | | |
|--|---|--|
| <p>【昭和五十二年】</p> <p>五月 「鈴木玄淳の墓」「長久保赤水の墓」が市の史跡に指定</p> <p>十二月 「北宿並木一本松」「琵琶墓古墳」「赤浜一号墳」が市の史跡に指定</p> <p>【昭和五十三年】</p> <p>一月 日曜診療開始</p> <p>四月 救急医療がスタートする。</p> <p>六月 常磐自動車道の路線発表される。</p> <p>七月 福祉バス「はまなす号」運行開始</p> | <p>【昭和五十一年】</p> <p>一月 第一回市民マラソン大会開催</p> <p>三月 「高萩の植物」発刊</p> <p>五月 第二十七回全国植樹祭が開催され、お手まき行事が行われる。</p> <p>九月 赤浜田園都市センター完成</p> <p>十月 高萩市民体育館完成</p> <p>【昭和五十年】</p> <p>三月 手綱工業団地が完成</p> <p>四月 県立松丘高等学校開校</p> <p>五月 第一回「楽しくあそぼうみんなの広場」はじまる。</p> <p>九月 赤浜田園都市センター完成</p> <p>十月 高萩市民体育館完成</p> <p>【昭和五十四年】</p> <p>三月 高萩市勤労青少年ホーム完成</p> <p>四月 君田中学校校舎完成</p> <p>四月 多賀地方農業共済事務組合設立</p> <p>消防の広域化によって高萩市・十王町事務組合設立</p> <p>十二月 市制施行二十五周年記念式典を挙げる</p> <p>【昭和五十五年】</p> <p>三月 高萩市文化会館完成</p> <p>高萩市立学校給食センター完成</p> <p>君田小学校校舎完成</p> <p>五月 高浜運動広場に夜間照明設置</p> <p>六月 山王児童公園に相撲場完成</p> <p>十二月 「旧穂積家」市の有形文化財に指定</p> <p>万葉の道完成</p> <p>【昭和五十六年】</p> <p>三月 秋山幼稚園園舎完成</p> <p>八月 高萩市役所第三庁舎完成</p> <p>九月 北部衛生センターゴミ処理施設完成</p> <p>【昭和五十七年】</p> <p>三月 高萩市民センター完成</p> <p>小島住宅団地分譲開始</p> <p>四月 日立・高萩・十王広域下水道組合設立</p> <p>十月 秋山小学校新築校舎完成</p> <p>丹生神社「棒ささら」復活</p> <p>十二月 市長選挙執行、市長に大高省三氏が就任</p> <p>【昭和五十八年】</p> <p>三月 高萩市立図書館完成</p> <p>八月 高萩市歴史民俗資料館完成</p> <p>茨城観光百選花貫タム第二位入選記念碑建立</p> <p>【昭和五十九年】</p> <p>三月 常磐自動車道の工事着工</p> <p>九月 高萩市・十王町事務組合消防本部庁舎が完成</p> | <p>の天然記念物に指定される。</p> <p>五月 「高萩市民の歌」「高萩市民ばやし」作成</p> <p>六月 工業用水の給水はじまる。</p> <p>七月 第四回高萩市民まつり（旧高萩まつり）</p> <p>八月 駅前バス発着所完成</p> <p>十月 第二十九回国民体育大会秋季大会開かれる。（一般準硬式野球）</p> <p>十二月 市民憲章制定</p> <p>市制施行二十周年記念式典を挙げる</p> <p>市役所玄関前にブロンズ像完成</p> |
|--|---|--|



昭和29年当時の高萩市の街並み



高萩駅



駅前通り(旧高砂町)



本町通り(旧仲町)



小桜町通り